

# AUDI TT COUPE

## 8J TTクーペでユーロライフを楽しむ!

OWNER>> FUNAYAMA サン  
 CALL >> makeover (メイクオーバー) [045]620-0887 www.make-over.jp  
 balance it tuning (バランスイットチューニング) www.balanceit-tuning.com  
 PHOTO >>> eS4

**SPECIFICATIONS AUDI TT COUPE**  
**WHEEL** AGIO WHEELS>>Precisione PKR F:20×9.5 R:20×9.5 Finish:Blushed Disk&Rim  
**TIRE** CONTINENTAL>>ContiSportContact5P F:255/30R20 R:255/30R20  
**SUSPENSION** KW>>Ver.3 Adjustable Coilover  
**BRAKE** Brembo>>GT Kit(F:4 Pod Brake Caliper, 330mm Rotor)  
**ENGINE** APR>>Stege2 ECU Upgrade, GruppeM>>Air Intake System  
**EXHAUST** ARMYTRIX>>Super Sport Exhaust  
**REINFORCEMENT**>>NEUSPEED>>Stabilizer  
**EXTERIOR** balanceit>>Carbon F Lip Spoiler,TTS Fiber Diffuser/TTRS Grille



01 「走れないと意味がない。見た目がカッコよくて、ちゃんと走れるクルマ」。メイクオーバー、木内代表の方針を表すかのようにシンプルにモディファイされたTTクーペ。  
 02 ライトチューンにより、どの速度領域からでも加速できるTT。今後はダウンパイプを追加して、さらに走りのポテンシャルを高める予定とのこと。



03 TTS 純正のリアディフューザーをツヤのある黒にペイントし、メリハリを持たせる。エキゾーストはアーミートリックスのキャタパックを選択した。  
 04 APRのコンピューター、グループMのエアインテークなどによってエンジン出力が60~70psアップしている。乗り出しからトルクの違いを体感することができる。

KWバージョン3によってローダウンし、プレジジョーネPKRの前後20×9.5にコンチスポートコンタクト5Pの255/30R20を組み合わせている。



05 フロントグリルはハニカムメッシュのTTRS用。バランスイットの新作リップスポイラー (FRP11万+税、カーボン13万+税) でダウンフォースを得る。  
 06 プレジジョーネPKRのスポークの隙間から見えるのはブレンボGTキット。ブレーキキャリパーは4ポット、ローターは330mmを換装して制動力を強化。



### メイクオーバーによるシンプルモディファイ

パツと見はシンプルなスタイルだが、装着しているパーツはどれも確かなクオリティのモノばかりで、都会に停めていてもさりげなくオシャレに見える。そんなクルマ造りを得意としているアウディモディファイのスペシャリスト、横浜・メイクオーバーがプロデュースしたTTクーペ。  
 代表の木内サンが吟味するパーツは、例えばKWなら減衰力固定式のバージョン1ではなく、伸び側、縮み側両方の減衰力調整ができるバージョン3。ホイールなら鍛造に比べ、強度や重量面でメリットがありステイタス性の高い鍛造を選ぶ。それがメイクオーバーのスタンスだ。  
 同じショップには、そんなモディファイの方針に共

感した30~50代のオーナーが数多く訪れており、今回取材したTTクーペのオーナーも40代の欧州車好き。こだわりのパーツでモディファイしたシンプルなTTクーペを普段乗りし、生活の一部として欧州車モディファイを楽しんでいる。  
 そんなTTクーペをよく見てみると、外観はフロントに装着されたバランスイットのリップスポイラーに注目! これは1か月ほど前にリリースされたばかりの新作で、幅や厚み、高さ、張り出し具合など、これまでラインアップされている車種のデザインを踏襲している。また、剛性と軽量さも申し分なく、装着によりしっかりとフロントのダウンフォースを得ることができる。8JのTT SラインとTTSに対応

しているおススメのパーツだ。  
 足回りは細かいセッティングができるKWバージョン3でローダウンし、オーナーの要望でプレジジョーネPKRの20×9.5を前後通してセット。やりすぎないくらいに車高を落とし、乗り心地も確保した上で、ブラッシュドの質感がクールなダブル5スポークをさらりと履きこなしている。  
 新型8Sがなにかと話題になってはいるが、各チューナーやメーカーから、さまざまなアフターパーツが出そろっているのは間違いなく8J!  
 TTをシンプルでオシャレなクルマにモディファイして楽しむなら、遊びやすい環境が整っている8Jをチョイスするのが賢い選択かもしれない。